

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で3,100cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で98,000cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモトイは鳴無、中学校前、目ノクソ、光松及び大鹿で漁業被害が想定される密度を超えていました。

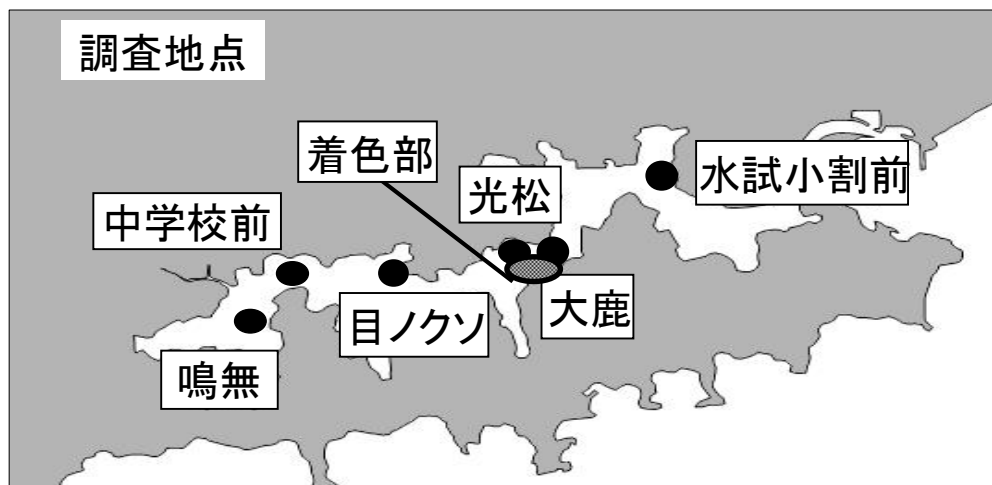
今後も増殖・拡大が想定されますので、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ
鳴無	3m	3,100	0
	B-1	0	0
中学校前	4m	200	0
	B-1	0	0
目ノクソ	3m	400	1,200
	B-1	0	0
光松	0m	400	300
	2m	300	2,500
	5m	800	100
	10m	0	0
	B-1	0	0
大鹿	2m	400	2,800
水試小割前	2m	1,700	100
	B-1	0	0
着色部	0m	2,100	98,000

漁業被害が想定される細胞密度
 ・カレニア・ミキモトイ：
 数百～数千cells/ml(魚類のへい死)
 ・ヘテロシグマ・アカシオ：
 50,000～cells/ml(魚類等のへい死)



「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>